

令和3年度第1回匝瑳市男女共同参画推進委員会 会議結果概要

- 開催日時 令和3年6月28日（月）午後2時から午後3時45分まで
- 場 所 八日市場ドーム 選手控室
- 出席委員 秋山賢明委員、石毛和子委員、伊藤和子委員、岩井信子委員、大木幸恵委員、大野裕子委員、押尾悦子委員、角田由江委員、片岡博之委員、田邊久利委員、那智ゆかり委員、林幸子委員
(欠席：石田昇委員)
- 市出席者 (特別職) 太田市長
(事務局企画課) 林課長、熱田主査、田中主査補

発言者	内 容
	<p>1. 開 会</p> <p>2. 市長あいさつ</p> <p>3. 委嘱書交付</p> <p>委員自己紹介</p> <p style="padding-left: 20px;">※資料1 委員名簿順に自己紹介</p> <p style="padding-left: 20px;">※事務局紹介</p> <p>4. 議 題</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 委員長・副委員長の選出について</p>
事務局	匝瑳市男女共同参画推進委員会規則第5条の規定により、委員長及び副委員長は委員の互選により定めるとあるが、いかが取り計らったらよいか。
委 員	事務局案はあるか。
事務局	事務局案として、委員長を大木委員に、副委員長を大野委員にお願いしたいと思うが、いかがか。
委 員	(異議なし)
事務局	大木委員、委員長をお受けいただけるか。
大木委員	お受けする。
事務局	大野委員、副委員長をお受けいただけるか。
大野委員	お受けする。
	<p style="text-align: center;">委員長が議長となって進行</p> <p>(2) 第2次匝瑳市男女共同参画計画の進行管理について</p> <p style="padding-left: 20px;">※事務局から資料3に基づき説明</p>

	<p>《各委員からの質問・意見》</p>
<p>委員</p>	<p>「第2次匝瑳市男女共同参画計画取組状況調査表」の取組状況について、記入内容について、良く書いてある。取組ができなかった部分が放置されていることが少なくなっており、内容が良くわかる。指標が無いと、評価ができないので、金額的なことまでは難しくても、何を、どのくらいやるかの指標を入れていただくと良いと思う。</p> <p>「第2次匝瑳市男女共同参画計画取組状況調査表」別紙を見ると、女性が全く採用されていない審議会等がある。理由を深掘りして追及しないと、女性の割合を30%にすることは難しいのではないかと。</p> <p>女性の方も手を挙げづらい状況があれば、女性の登用の条件を見直し、登用しやすい環境を作ることが必要ではないかと。また、内容が難しく、女性の方が手を挙げづらいのであれば、わかりやすく説明すること等が必要だと考える。全ての審議会等で30%以上女性の割合とすることは難しいと思う。ハードルを下げてみてはどうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>指標については、数値にすることが難しい取組もあるので、いつまでに何をするか等を設定できるか、検討していきたい。</p> <p>女性委員数がゼロの審議会等については、取組状況を照会する際、今回の資料の中にはないが、その理由を書いて提出いただいている。理由としては、各団体役員のアて職で、審議会等の構成員が選ばれていることが多く、各団体に女性の長や役員が含まれていないと、なかなか達成が難しいという面があること等がある。</p>
<p>委員</p>	<p>理由を提出いただいているということであったが、やはり、なぜ居ないのか、推進委員会委員の皆さんも知りたいところであろうし、また、今後の女性委員を増やす解決方法を考えるきっかけになると考えるので、資料に追記等で掲載いただくと良い。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>未委嘱とあるのは、どういうことか。</p> <p>この表は令和2年4月1日現在の一覧であり、その時点で条例等に規定されているが、実際に審議会等として、動いていないものを未委嘱としてある。今後、審議会等として、動き始めれば、委員総数欄に人数が記入される。</p>
	<p>(3) 第3次匝瑳市男女共同参画計画策定に係る市民意識調査について ※事務局から資料4に基づき説明</p> <p>《各委員からの質問・意見》</p>
<p>委員</p>	<p>同じ内容が重複して、自由意見の欄に掲載されているものがある。まとめて記入した方が良かったのではないかと。特に、報告書184ページの「働い</p>

事務局	<p>ていない理由」自由意見では、「学生だから」等は、まとめても良かったのではないか。</p> <p>男女共同参画ということについて、何をどうとらえているのか、個々違うことが自由意見を見ていて思ったことである。男女共同参画とは何かという、共通の認識が必要ではないか。この認識の相違により、男の世界に女が入り込んでいるように見えるというような意見もある。</p> <p>自由意見のまとめ方として、内容ごとに概略でまとめるという方法もあるが、今回は、市民の生の声に近い形で掲載した。委員御指摘のとおり、184ページのように、「学生だから」等が重複している部分については、まとめて掲載しても良かったかと思う。</p> <p>男女共同参画とは何かという基本的なところの啓発については、改めて推進したい。</p> <p>(4) 令和3年度の推進活動について</p> <p>※事務局から資料5に基づき説明</p> <p>《各委員からの質問・意見》</p> <p>特になし</p>
議長 委員	<p>(5) その他</p> <p>委員の皆さんから何かあるか。</p> <p>私の会社では、男女共同参画の講演会等の際、従業員を出席させている。現在、女性従業員と相談しながら、生理休暇の取得も推進している。重い症状の従業員もいることから、話を聞きながら進めているところであるが、衛生管理者として、男性従業員にどう理解させようか、模索中である。またこの推進委員会等の際にも相談させていただきたいと考えている。</p> <p>「男女共同参画とは何か」「市民がどう考えているか」は、市民意識調査報告書の自由意見を見てもらうと、最初のステップになるのではないか。同じ質問でも、例えば、20代と60代とではずいぶん違う意見があることが見て取れる。</p> <p>私の会社ではひとり親の男性従業員がおり、運動会等の子育てに関する休暇を取得しているが、男女共同参画といっても、女性だけではなく、男性のことでもあるということもポイントになると思う。</p> <p>私の会社では、お茶を出す際も私含め男性も対応し、茶碗も自分で洗う。また、掃除も、男性、女性に関わらず行っている。</p> <p>ご近所のことであるとか、比較的身近なことから考えれば良いのではと思う。</p>
委員	<p>10年以上前であるが、前の会社に居た際、女性の係長・課長を増やすという時期があった。徐々に、リーダー格からステップアップして数字は上が</p>

	<p>っていったが、結果的には、中には成功して子育てしながらも課長職になった人も居た一方で、推薦された女性によっては、「わたしは、それを望んでいない。皆と一緒に仕事をして、帰りたい。」という人もいた。また、責任がいやになって退職した人もいた。</p> <p>10年経っており、世の中の流れも変わっているとは思いますが、女性の意識も変えていって欲しい。こうした意識を高めていくための向上を図る取組があまり無いように思う。</p>
委員	<p>男性でも、上にあがりたいたいと、そうでない方もいる。今の若い方は考え方が違ってきていると思う。また、環境や性格によっても違うのでは。</p>
委員	<p>そのとおりで、男性でもそう考える人もいるが、男だから、順番だから、やらなきゃいけないという義務感・責任感があり、管理職になる。女性は、男性に任せて回避することがあるので、そういうことが無いよう、女性の意識の押上げをもっとしたい。</p>
委員	<p>育児や家事を、女性がやらなければいけないことがあり、何かを犠牲にしないと両立ができないという面もあるのでは。</p> <p>女性優位だという意見もあるが、女性を管理職とするためには、それなりの環境をもたせてもらわないと難しいのでは。また、本人がやりたいという場合には、やれる環境を社会が整えないといけないと思う。</p> <p>この推進委員会に何度か出席してわかったのは、市内でも、地区によってずいぶん男女の立場が違うということである。人数で男女の割合を決める等、ある程度半強制的にやらないと、なかなか進まないのではないかと。防災分野の審議会等に男性の割合が多いとのことであったが、地元から足を固めていかないと、なかなか会議や集まりでの女性の割合を増やすのは難しいのではないかと。</p>
委員	<p>管理職に女性を登用することを推進されていたとのことだが、管理職に登用されていた年齢はどの位の女性か。</p>
委員	<p>20代からリーダーを目指し、30代で係長、40代で課長の年齢。</p> <p>40代の課長の方は、結婚して子どももいて、モデルケースとされてもいた。</p>
委員	<p>男の人がいて、その前提で女の人がいる、という時代がある。女性本人としても、そうなりたいけれど、子ども・親・夫の応援がないと難しいと思う。みんながバックアップすることが大事だと思う。</p>
委員	<p>尊敬する、というか、目指す人はそれぞれあることは理解できる。</p>
委員	<p>自分は、地区で多くの会議や集まり等に参加しているが、「女のくせに」がついてまわる。</p>
委員	<p>客観的な事実として、会社としては、17時以降に残らざるを得ない役職がある。17時に帰り、子どものお迎え・お風呂・夕食等の家事育児があるというところに、企業が割って入ることはできない。家庭の中が改善しないと、女性の管理職の割合も上がっていかないとと思う。匝瑳市みどり平工業団地連絡協議会の副会長は女性だが、大手企業の課長職であり、以前にこの推</p>

	<p>進委員会に呼んで、企業の中の声を聞いてもらっても良いのではと思い、提案させていただいたところ。この方は、配偶者の方の理解があるということであった。各従業員の事情があると思うので、無理をしないで進めることも大切ではないか。家庭・地域が変わることも大切であり、会社としても、管理職でも休みやすい、また、時間外勤務を作らないサポートをしていくことも大切だと考えている。</p> <p>こういうことをわかってもらえるよう、進めていくことが、この推進委員会の大切なところだと思っている。</p>
委員	私も、家事分担として、風呂掃除等をしている。
委員	私の家も夫と家事分担になった。夫の親がいる時は難しかったが、環境や時代が変わっていくと思う。
委員	<p>区長をしており、区で小学校の子どもが減り、地域として縮小していることを感じる。そういう中で、近所に新しい家族が引っ越してきて、夫が長期出張のため、妻が地域の草刈りに参加してくれたことがあった。草刈りはいつも男性の集まりになっており、初めて女性が参加してくれた。ただ、その女性からは、「2回目からは参加しなくて良いですか」と言われてしまったが、今後も、こういう集まりには、是非女性にも出てきて欲しいと思っている。</p> <p>なかなか地域のことで、自分だけでは変えられず、急にはできないが、今までの運営方法や参加者が当たり前ではない、という視点で、冷静に見直したいと思っている。</p>
議長	その他、事務局から何かあるか。
事務局	<p>本日の会議録については、市のホームページで公表を予定しているがよろしいか。なお、公表の際に意見の発言者については、「委員」と表示する。</p> <p>(異議なし)</p>
	<p>5. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>